



第 2 9 号
令和3年 10 月 18 日
岩手県長寿社会課

お待たせ！県内9医療圏域に出そろいました！
認知症疾患医療センターの巻

今年度は、本県の認知症施策における記念すべき年です。県内の9つの二次医療圏域全てに、県が指定する「認知症疾患医療センター」が出そろいました。今後、市町村や関係機関との連携が進むと思われます。センターは、それぞれの圏域で相談や専門医療の提供など、認知症医療の中心となって活躍します。今回は、県内全9センターの概要とその抱負について御紹介します。

「認知症疾患医療センター」の指定状況

皆さんは「認知症疾患医療センター」を御存知でしょうか？

センターは、認知症の専門医療を担う機関として、認知症の鑑別診断、周辺症状への対応、医療相談、地域との連携など、国が定める要件を満たす医療機関を、県が指定しているものです。国では、二次医療圏に1か所以上の整備を目標（←認知症施策推進大綱）としており、現時点で全国に488か所設置されています。

センターには、機能に応じて**基幹型**（総合病院など。救急や急性期にも対応）、**地域型**（精神科病院など。地域の認知症医療や連携の中核）、**連携型**（病院や診療所など。基幹型・地域型病院と連携し相談や専門医療に対応）の3タイプがあります。

岩手県では、平成21年に全国に先駆けて、岩手医科大学附属病院がセンターの指定を受け、基幹型センターとして県内の認知症専門医療を担ってきました。その後、地域型センターが徐々に増え、令和3年4月、これまで空白だった4つの二次医療圏域にセンターが指定されました。

これにより、県内9つの二次医療圏域全てに、認知症疾患医療センターが出そろったこととなりました。

圏域	類型	医療機関名
盛岡	基幹型	岩手医科大学附属病院
岩手中部	地域型	独立行政法人国立病院機構花巻病院
胆江	地域型	医療法人社団創生会 おとめがわ病院
両磐	地域型	岩手県立南光病院
気仙	連携型	医療法人希望会 希望ヶ丘病院
釜石	連携型	財団医療法人仁医会 釜石厚生病院
宮古	地域型	社団医療法人新和会 宮古山口病院
久慈	地域型	社団医療法人祐和会 北リアス病院
二戸	地域型	岩手県立一戸病院

晴れてこの春、県が新たにセンターとして指定したのは、以下の4病院です。

- （両磐圏域）岩手県立南光病院 **地域型**
- （気仙圏域）医療法人希望会 希望ヶ丘病院 **連携型**
- （釜石圏域）財団医療法人仁医会 釜石厚生病院 **連携型**
- （二戸圏域）岩手県立一戸病院 **地域型**

各圏域のセンターを紹介します

各センターでは、専用の相談窓口を設け、認知症の方やその家族、関係機関などからの相談に対応しています。電話相談のほか、来所による面接相談も受け付けています。相談の対象となる方が、センターのある病院に通院しているかどうかは問いません。

「なんだか最近、もの忘れが多くなった気がする」「おばあちゃんの様子が変わ。認知症かも？」という個別の相談だけでなく、市町村や地域包括支援センター、医療機関、介護事業所などからの専門的な相談にも応じています。これを活用しない手はありませんね。

取材班では、このたび県内全ての二次医療圏域にセンターが揃ったことを記念して、全9センターの窓口の皆様から、今後のセンターとしての意気込みや活動についてのアピールをいただきました。相談の際の参考としてください。

保存版 岩手県の認知症疾患医療センター一覧



「孫世代のための認知症講座」
の様子

<基本情報>

所在地 矢巾町医大通 2-1-1

対応日時 平日 10:00~16:00

電話番号 019-652-7411

ホームページ <http://iwate-ninchisho.jp/>

<センターとして力を入れたいこと>

当センターは平成21年度に県より指定を受け、平成23年度からは県内唯一の「基幹型」認知症疾患医療センターとして事業を実施しています。

認知症についての専門医療相談、MCI(軽度認知障害)、若年性認知症も含めた鑑別診断と治療、認知症に携わる多職種連携の推進、認知症の正確な知識の普及啓発を実施しています。

<県民の皆様や関係者へのメッセージ>

当センターでは、認知症に関する直通的な相談窓口を設置しています。

「もの忘れが多くなった」「これは認知症の症状か」など御本人や御家族からの相談に、専門の相談員が対応します。関係機関からの相談も受け付けています。

お気軽に御相談ください。



国立病院機構
花巻病院

<基本情報>

所在地 花巻市諏訪 500
対応日時 平日 9:00~17:00
(事前にアポイントが必要です)

電話番号 0198-20-0596

ホームページ <https://hanamaki.hosp.go.jp>



<センターとして力を入れたいこと>

認知症に対する治療はもちろんのこと、患者様が安心して生活できるよう、様々なニーズに応じた相談支援・連携に注力していきたいです。

また、よりよい介護と医療の連携のため、研修会の開催にも取り組んでいきます。

<地域の皆様や関係者へのメッセージ>

当センターでは、認知症疾患に関する鑑別診断や周辺症状に対する治療のほか、地域の医療機関や地域包括支援センター等と連携しながら、患者様の生活に関する相談も行っております。お気軽に御相談ください。



おとめがわ病院

<基本情報>

所在地 奥州市水沢佐倉河字慶徳 27-1

対応日時 平日 9:00~16:00

電話番号 0197-34-1226

ホームページ

<http://www.rnac.ne.jp/~otomegawahp/ninchi.html>



<センターとして力を入れたいこと>

地域で唯一、入院施設を持つ精神科病院としての役割を自覚し、認知症患者様が地域で安心して生活を送ることができるよう、医療相談や鑑別診断、治療を行っていきます。

<地域の皆様や関係者へのメッセージ>

地域住民、医療・介護・福祉関係者の方々にとって、身近な相談機関となれるよう努めてまいります。お気軽に御相談、御紹介をお待ちしております。



県立南光病院

<基本情報>

所在地 一関市狐禅寺字大平 17

対応日時 平日 9:00~16:00

電話番号 0191-23-0852

ホームページ

<http://www.nanko-hp.net/ninchicenter.php>



<センターとして力を入れたいこと>

当センターでは、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施することを目的としております。また、地域関係者等への研修等を行うことにより、地域での認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることとしております。



<地域の皆様や関係者へのメッセージ>

認知症かな？認知症のようだけど、どんな認知症なんだろう？等気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

鑑別診断および急性期対応を行った後は、かかりつけの先生に戻ります。



希望ヶ丘病院

<基本情報>

所在地 陸前高田市高田町大隅8-6

対応日時 平日 10:00~17:00

電話番号 0192-53-1019

ホームページ <http://kibou-kai.or.jp/>



<センターとして力を入れたいこと>

住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせるために、地域の医療や介護の専門職と手を取り合い、患者様と御家族様を支援します。

<地域の皆様や関係者へのメッセージ>

地域で暮らす皆様はもちろん、地域の医療機関や介護・福祉関係の方々にとっても、力になれるよう努めてまいります。

まずはお気軽にご相談ください。



釜石厚生病院

<基本情報>

所在地 釜石市野田町 1-16-32

対応日時 平日 9:00~16:00

電話番号 0193-23-5105

ホームページ <http://www.jinikai.jp/kamaishi/>



<センターとして力を入れたいこと>

患者様の心と身体の健康を守るため、安心して安全、そして良質な精神医療サービスを提供します。県内の基幹型・地域型各センターの医療機関、地域のかかりつけ医や地域包括支援センター等と連携し、認知症の相談、専門医療の提供、認知症医療に対応してまいります。

<地域の皆様や関係者へのメッセージ>

認知症は決して特別な病気ではなく、誰でもかかる可能性があります。「これって認知症？」気になり始めたら、悩まず、抱え込まず、どうぞお気軽に御相談ください。



宮古山口病院

<基本情報>

所在地 宮古市山口五丁目 3-20

対応日時 平日 9:00~16:00

電話番号 0193-62-4088

ホームページ

<http://www.shinwa-kai.jp/hospital/medical-center/>



<センターとして力を入れたいこと>

早期受診、早期対応により認知症になっても、住み慣れた地域で、その方らしく長く暮らしていけることを目標に、御相談から診察までをスムーズにつなげられるよう努力しております。

また、精神科病院として、周辺症状への対応や緊急的な入院加療の御相談も承っております。

<地域の皆様や関係者へのメッセージ>

高齢化の進展に伴い、地域の認知症高齢者の数も確実に増えていきます。認知症に関する「困った」「どうしよう」は、お一人で悩まずに、まずは、御相談ください。



北リアス病院

<基本情報>

所在地 久慈市源道 12-111

対応日時 平日 9:00~16:00

電話番号 0194-75-3858

ホームページ http://www.kitariasu.or.jp/n_center.html



<センターとして力を入れたいこと>

- ・認知症の早期発見、早期治療につながるよう、相談支援体制の強化
- ・相談から初診までの期間を短縮し、早期受診を可能にする
- ・通院や入院となった場合、医療面での支援のみならず、在宅支援についても継続的に援助する
- ・本人、家族および公的機関や事業所、担当ケアマネジャー等との連携強化を図り、在宅でのフォロー体制を強化する

<地域の皆様や関係者へのメッセージ>

当センターでは、相談から初診までの期間の短縮を図ることや現在の問題点(困りごと)や前からみられている問題点に対する治療を開始していくために面談を重視しております。高齢者の精神的な問題に関する相談等は、本人・家族または関係者(担当ケアマネ)だけで抱え込まずに、当センターにまずは相談してみてください。



県立一戸病院

<基本情報>

所在地 一戸町一戸砂森 60-1

対応日時 平日 9:00~16:00

電話番号 0195-32-3153

ホームページ

<http://www.ichinohe-hp.com/ninchishocenter.php>



<センターとして力を入れたいこと>

地域に密着した認知症疾患医療センターとなるよう、医療・福祉・介護の関係機関の皆様と連携を図りながら、認知症の患者様、そのご家族様が住み慣れた地域・場所で安心して生活ができるようにしていきます。

病院では多職種が病院内・病院外(在宅)で医療を提供できるよう医療体制の充実に取り組んでいます。診療科のほか、認知症デイケアセンター「わく夢」や「もの忘れ予防教室(MCI)」、在宅医療科(訪問診療・訪問看護)と密な連携を図りながら地域での生活を支援していきます。

<地域の皆様や関係者へのメッセージ>

さまざまなご相談を認知症疾患医療センターにてワンストップで受けています。「もしかして認知症では?」「家族も対応に困っている」など、どのようなことでも構いません。ぜひお気軽にご相談ください。病院の医療体制を充実させ連携を図っていくほか、地域の医療・福祉・介護関係機関の皆様とも密な連携を図りながら、地域のみならず、地域のみなさんの力になれる認知症疾患医療センターでありたいと思っています。

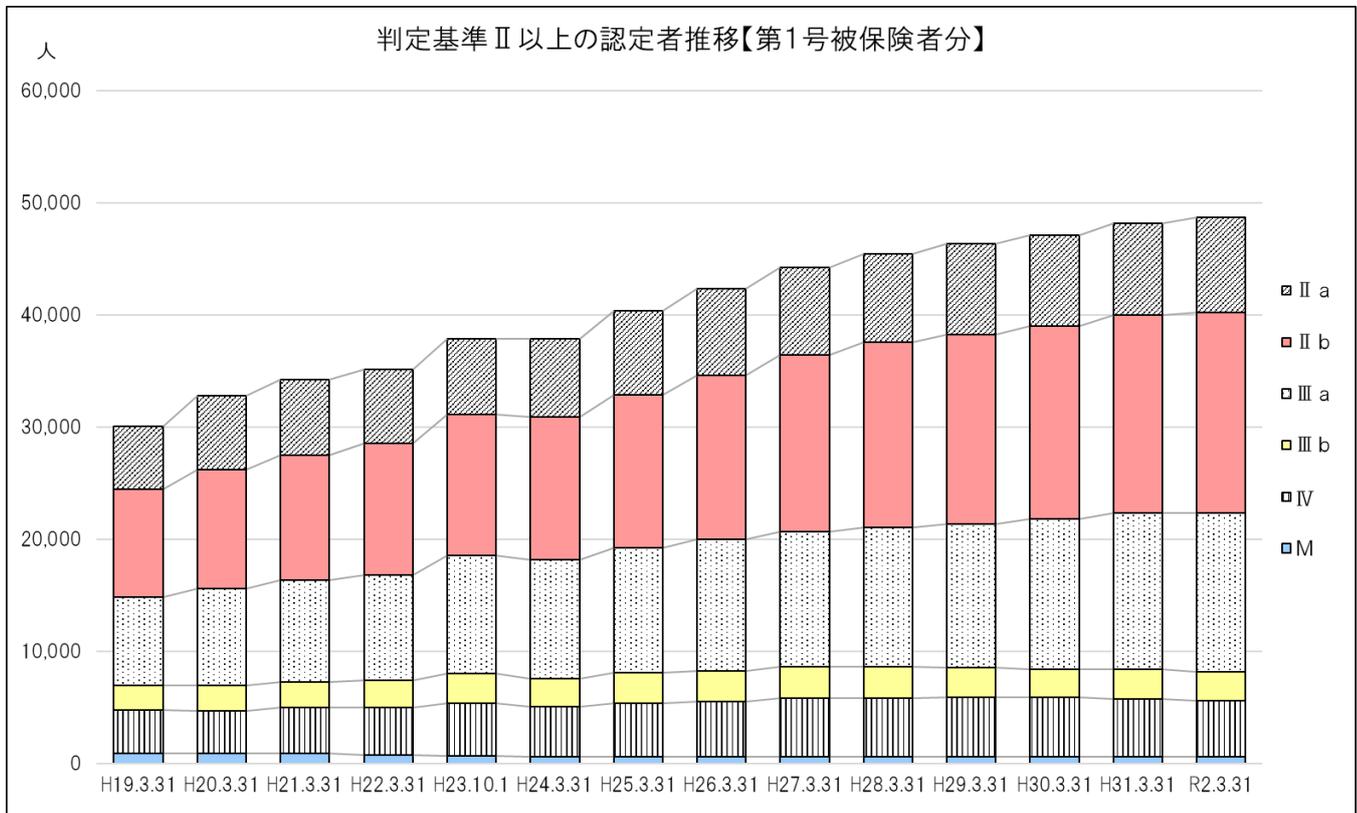


認知症疾患医療センターを活用しよう！

県内9つのセンターは、軽度認知障害（MC I）など初期段階からの相談、認知症の専門的な医療の実施、かかりつけ医や地域包括支援センターのバックアップなど、**オールマイティに活躍する頼れる存在**です。

近年は、認知症疾患医療センターの他、内丸メディカルセンターに**若年性認知症支援コーディネーター**を配置し、**相談に対応**しています。

「岩手県における認知症高齢者等の日常生活自立度調査」（令和2年3月末時点）によると、県内の**認知症高齢者（自立度Ⅱa以上）**の数は**48,710人**。10年前（平成22年3月末）より約1万3千人増加しており、年々増加傾向にあります。また、若年性認知症の方は、年間約700人弱で推移しています。



高齢化がますます進む岩手県。認知症の方が、その思いを尊重され、可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けるには、適切な診断による**早期発見・早期対応**と、地域の行政や介護などとの連携による**専門的な医療**の提供が欠かせません。

今後、認知症高齢者が増えていく中、市町村・地域包括支援センター等と認知症疾患医療センターとの連携は、ますます重要になります。

地域包括支援センターをはじめ、認知症の方の暮らしに携わる関係者の皆様、ぜひ、**お近くの認知症疾患医療センターの門を叩いてみてください**。きっと頼りになると思います。

相談無料 秘密厳守 匿名可能

**岩手県基幹型
認知症疾患医療センター**

☎ 019-652-7411
(直通) 月～金 10:00～16:00

※「若年性認知症支援コーディネーター」が就労も含めた各種相談に応じます。
※家族、職場の方や知人など、どなたでも相談できます。

今号のインタビューでは、内丸メディカルセンターの菊地若年性認知症支援コーディネーターに、日頃の相談支援などのお仕事の様子や、今後の抱負について伺いました。

—まず、現在の主な業務の内容について教えてください。

主に、院内での電話や面接での相談が中心です。必要に応じて、地域ケア会議などの機会に、県内の市町村や包括など、関係機関を訪問しています。

また、県のパンフレットやホームページを通じた情報提供への協力、いきいき岩手支援財団などが主催する研修会などで、事業に関する情報提供を行っています。

—コーディネーターになってからの4年間を振り返ってみて、いかがですか？

若年性認知症については、新しい事業でしたので、センターの先輩や院内外の関係者の方の御協力を得ながら、試行錯誤でやってきたところです。

さまざまなアドバイスをいただきながら、例えばネットワーク会議を開催するのに、どこに声をかけたらよいか考えたり、外部の研修で他県のコーディネーターの取組を見聞きして刺激を受けたり…。様々な情報を参考に、日々新たな可能性を模索しながら働いています。

近隣のコーディネーターとときどき情報交換していますが、コーディネーターの設置場所は病院とは限らないので、それぞれ活動内容に個性があるなと感じています。

—相談件数は、どのくらいありますか？

最近では、若年性認知症のことが社会で話題となることも増えましたので、初年度に比べると、相談件数は年々増えています。

年度	H29	H30	R1	R2
件数	122	196	245	272

関係機関がコーディネーターの事業を知って、支援の輪が広がっていることもあるのでしょうか。

—最近では、どのような相談が多いのでしょうか。

若年性認知症に限らず、病状や生活は人それぞれなので、ひとまとめにするのは難しいですが、「若い人が利用できる制度や社会資源はどんなものがあるか」という相談がよくあります。

また、受診方法や受診できる医療機関の相談、診断後に利用できる介護や医療、日常生活上の様々な制度の内容や利用のタイミングなど、多様な相談が寄せられますね。

—若年性認知症の場合は、高齢者とは異なる課題がありますね。

県内にある地域資源は限られていますが、障がい福祉分野での就労継続やデイケアなど、今ある資源を活用しながら、若年性認知症の方に向けて、どのような支援ができるかを常に考えています。

——支援に当たって、特に留意していることは何でしょうか？

今の仕事は、何かが解決して終結したというよりは、相談支援を継続できていること自体が「上手くいっている」ということなのかもしれません。診断直後の相談から、時間が経って日常生活の相談に移っていくとか…。本人が65歳を過ぎても、発症がそれ以前であれば引き続き相談に応じています。

支援に当たっては、本人の希望だけでなく、家族の希望も合わせて決めることができるよう、電話や面談の機会をフルに使い必要な情報を得て、本人や家族に寄り添った支援ができるよう努めています。

若年性認知症の方のケアでは、就労の継続や居場所の確保などがよく言われますが、それだけが正しいゴールだとは思っていません。本人の置かれた状況はさまざまですし、家で過ごしたいと希望する方もいらっしゃいます。就労や居場所については、本人や家族の状況・希望に合わせて考えるよう心がけています。

——現在の連携先や、今後連携を強めていきたいところはどこですか？

現在は、やはり地域包括支援センター、介護事業所やケアマネさんと連携する機会が多いですね。ここでは全県を担当していますが、デイサービスなどの地域資源は地元の方でないと分かりませんし、「つどい」など地域の集まりやつながりの情報を把握しきれいていませんので、ぜひ情報を教えてほしいです。

また、今後は就労支援について、ハローワークや障がい福祉サイドとの連携を強化したいです。

——事業について、新型コロナの影響はありますか？

電話対応が多いので、事業への大きな影響はありませんが、相談者の皆さんの生活に少なからず影響が出ているのではと心配しています。

また、研修や会議で呼んでいただける機会も減っているので、コロナが落ち着いたらぜひ行きたいです。

——最後に、関係者の皆さんへのメッセージをお願いします。

この広い岩手県内では、認知症の方への支援について、各地域で多様な取組が行われているものと思います。地域の関係者の皆様には、実際の取組や地域資源の状況などを、ぜひ教えていただきたいです。

また、情報提供や支援の方法などについて、一緒に考えて取り組んでいければと思っています。

若年性認知症支援コーディネーターの業務は、介護保険だけでなく障がい福祉や就労支援など、守備範囲がとても広いので、関係する分野のことは、できるだけ知っておきたいものです。関係する研修などにも、積極的に参加したいと思っています。

若年性認知症の方や家族は、さまざまな悩みを抱えています。まずは、コーディネーターがいることを知っていただいて、関係機関とともに本人や家族を支えていくネットワークができればいいですね。

「橋渡し役」と言われるとちょっとプレッシャーですが、困ったことがあればお互い相談できるようになりたいです。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

岩手県高齢者総合支援センター ♡ 『認知症相談』のススメ



うまく言葉にできない
ことがあります
何をいらいいか
分からないことがあります



岩手県高齢者総合支援センター(一般相談)は
電話でも来所でも相談できます!

認知症専門相談
日時→第1・第4水曜日13:30~16:30
※日時が変更となる場合があります
場所→岩手県福祉総合相談センター3F階

TEL 0120-84-8584

いわて認知症電話相談《認知症の人と家族の会岩手県支部運営》
※家族介護経験者が相談に応じます
日時→平日9:00~17:00 (祝日・年末年始を除く)

TEL 0120-300-340

岩手県高齢者総合支援センター
では
その思いをうけとめ
カタチにします



いつでも
ご相談
お待ちしております

チームオレンジ
についても
ご相談ください



認知症に関する一般相談・専門相談や
地域交流会(つどい)の開催
認知症サポーター養成講座の講師派遣など
様々な取組みを行っています

公益財団法人いきいき岩手支援財団
岩手県高齢者総合支援センター
TEL 019-625-0110
平日9:00~17:00 (祝日・年末年始を除く)



～編集後記～

先日、久々にやらかしました。帰りの電車の乗り過ごし。寝ていたわけではなく、読書で頭の体操をしていたり、隣席の女子高生のすさまじい爆睡ぶりが気になったりはしたものの、もう25年以上も通い続けた路線。寝ていても線路の音で現在地はわかるはずでした。なぜか1駅手前と勘違いしたようで、次駅のアナウンスがあり車窓が変なのでびっくり！ 逆方向の電車がすぐ来て戻れたのが不幸中の幸いでしたが…。疲れていたのか、認知機能がどこか怪しくなり始めているのか。

今回は、ついにこの春までに県内全圏域に設置された、認知症疾患医療センターを特集しました。「ふ」が大昔に認知症担当だったころは、センターといえば基幹型一本の時代。近年の認知症施策の変化の大きさを感じました。

認知症施策において、初期集中支援チームの普及など、医療と介護の連携は以前より「制度上は」進みましたが、地域によって、まだ付き合い方に濃淡があります。本特集が、今後の連携を進める一助となればと思います。

隣席のS課長と「最近顔が分かって名前が出ないときが」「ワクチンの副反応、腕が痛い以外は何もなかったよね」などと話しながら、あぁワシもすっかり歳を取っちゃったなあと、ココロのすき間に風が吹いた今日この頃です。（取材班 ふ）

今回は、岩手医科大学の菊地さんにインタビューをさせていただきました。お話を伺う中で、支援の過程には各方面で多くの支援者が関わり奔走されていることを、改めて実感しました。同時に、医療機関として、個人情報管理等、多方面への配慮を徹底していること、相談に訪れた方お一人お一人への丁寧な姿勢を言葉の端々から感じました。

また、労働分野をはじめ、福祉分野に限らず他分野の情報、知識の必要性を強く感じてもらっていました。コーディネーター、あるいは中核機関と呼ばれるところでも、一支援者であり、各職種の中での情報のやり取りが大切。認知症疾患医療センターも9センター指定をお受けいただいたところ、認知症支援にあたっては、非常に多くの機関や職種の方々が尽力されています。情報が必要とする機関や人に、円滑に行き渡るように、今後も意識していきたいと思います。（取材班 た）

がんばる地域の情報、大募集！

「ちいきで包む」は、岩手県内市町村の地域包括ケアシステム構築をアシストするため、各地の特色ある取組や、関係する情報を発信する情報紙です。

企画・発行（問合せ先）

岩手県保健福祉部長寿社会課（本号担当：藤原・田中） 令和3年10月18日発行
TEL:019-629-5436 FAX:019-629-5439 E-mail:AD0005@pref.iwate.jp

「ちいきで包む」編集部では、住み慣れた地域で暮らし続けたいお年寄りを、地域ぐるみで支える取組について、情報を募集しています。下記までお寄せください。